

科名 13期ミュージアムへ行こう 4



テーマ名 第5回 「大ゴッホ展」

事前学習

実施日付 2025年10月14日（火）10：00～11：50

講師 愛知教育大学名誉教授 浅野和生 先生

「ゴッホ」は日本独特の呼び方との説明から講義がスタートした。

- ・オランダ時代
- ・パリ時代（1886年3月～1886年2月）
- ・アルル時代（1888年2月～1888年12月）
- ・アルル（耳切り事件以後）、
サン・レミ時代（1888年12月～1890年5月）
- ・オーヴェール時代（1890年5月～7月）
- ・晩年と没後の評価

上記のテーマ毎に OHP にて経歴やその時々のエピソードと作品や地図、建物などゴッホに関する内容を詳しく説明していただいた。

他の画家との比較や絵の具の塗り方、タッチの変化、色やテーマなどゴッホの特徴や変遷を時には作品を拡大して詳細に解説いただいた。



授業風景



講義資料 モネとゴッホの比較



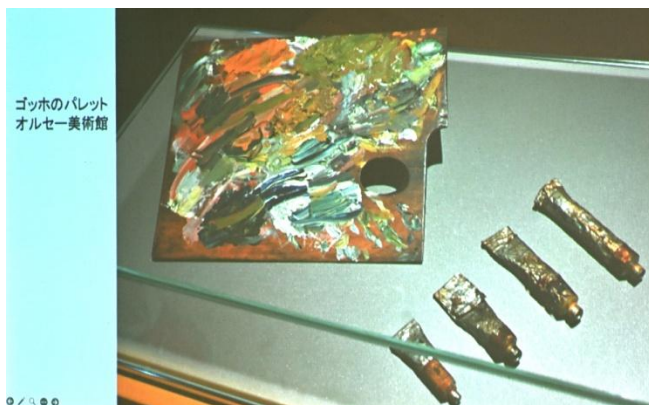
講義資料 フォルム広場カフェ・ヴァン・ゴッホとゴッホ「夜のカフェテラス」



講義資料 ミレーとゴッホの比較



講義資料 ゴッホとテオの墓



講義資料 ゴッホのパレット

テーマ名 第5回 大ゴッホ展「夜のカフェテラス」

鑑賞会

実施日付 2025年10月21日（火）9：50 集合～自由解散

場所 神戸市立博物館

大ゴッホ展「夜のカフェテラス」（作品リストより抜粋）

第1章バルビゾン派、ハーグ派	作品 1～5
第2章オランダ時代	作品 6～50
第3章パリの画家とファン・ゴッホ	作品 51～62
第4章パリ時代	作品 63～72
第5章アルル時代	作品 73～74

上記のように分類された会場にて数多くの作品を展示、浅野先生の解説を思い出しながら多くの人で混みあう中、ゴッホの世界を巡り満喫した。



阪急神戸三宮東改札口前に集合



神戸市立博物館に到着

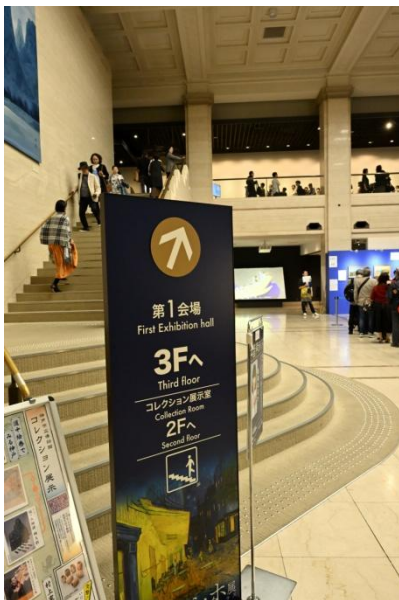




当日チケット購入のため待機中



大ゴッホ展入口ポスターと盛況な会場風景



作品の見学に期待を膨らませてまず3階第1会場へ

以下写真撮影許可のある作品とその部分拡大



69. 草地



70. 自画像



71. レストランの室内



72. 石膏像のある静物



74. 夜のカフェテラス（フォルム広場）



館内の寸景 ステンドグラスと平清盛座像

後書

今回は講義の資料や公開作品を見やすくするために写真を大きく構成しましたが、ページ数が増えてしまいました。悪しからずご了承ください。

なお講義資料や作品の写真は転用しないで下さい。 （広報担当 1班）